

一般社団法人 安来青年会議所



# ふれあい

題字 理事長 妹尾 匠

発行所  
 一般社団法人 安来青年会議所  
 理事長 妹尾 匠  
 安来市飯島町1240-3  
 ☎ 3038  
 編集 青少年未来創造委員会  
 編集長 浅野 周作

二〇一六年度スローガン

## 「終りなき挑戦」



一般社団法人 安来青年会議所  
第五十代 理事長 妹尾 匠

### 安来市民の皆様へ

新年、あけましておめでとうございます。  
 私は二〇一六年度一般社団法人安来青年会議所第五十代理  
 事長を務めさせて頂きます妹尾匠と申します。  
 一般社団法人安来青年会議所の会議所運動に対しまして平素  
 より格別のご高配載きありがとうございます。  
 います。本年度も変わりがませぬ、ご理解  
 とご支援賜りますようよろしくお願い  
 致します。



### 【はじめに】

青年会議所の運動の目的は「明  
 るい豊かな社会を築く」ことであ  
 ります。経済状況の浮き沈みや少  
 子高齢化など、環境変化が著しい  
 昨今、この先どのような希望や  
 ハードルがあるのか未来が描きに  
 くい世の中になつてきておりま  
 すが、安来青年会議所は地域の未  
 来のため、子供達の未来のために「ま  
 ちづくり」「青少年育成」を中心に日々、  
 切磋琢磨しながら事業を行って  
 います。そして、その運動を進めて  
 いく過程の中で、メンバー一人ひ

とりの成長にも繋がります。個の  
 成長と青年会議所の運動を繰り返  
 す先に必ず「明るい豊かな安来」の  
 実現があるものと信じております。  
 この想いをメンバーと共有するた  
 めに、今年度のスローガンを「終わ  
 りなき挑戦」と致しました。



### 【創立50周年を迎えて】

1966年(昭和41年)先輩諸兄  
 によって、全国で344番目の青年会  
 議所として、安来青年会議所は誕  
 生しました。以来恵まれた豊かな  
 自然、歴史ある伝統文化そして人  
 情味溢れる温かい人々が共存する  
 この安来市で、地域の皆様と共に  
 発展を遂げてまいりました。50年  
 間の歴史の中で、安来青年会議所は、  
 我々の目的の大きな柱である「ま  
 ちづくり」「青少年育成」を中心に様々  
 な事業を行ってまいりました。私  
 は第50代理事長を迎えるにあたり、  
 先輩諸兄が行ってこられた数々の  
 事業の振り返りを致しましたとこ  
 ろ、このまちにおける青年会議所  
 の必要性やこの50年にわたる伝統  
 の誇りを改めて感じております。  
 そして、50周年という節目を迎え  
 るにあたり、その歴史の重みは大  
 切に、過去と未来を繋ぐ大切な役  
 割を全うしていきたいと感じてお  
 ります。この想いは創立50周年を  
 記念した式典及び事業として、青  
 年会議所メンバーのみならず、行  
 政機関、青年団体、多くの市民の皆  
 様と共に、このまちのことを真剣  
 に考え、そして、行動していくこと  
 のできる機会に致します。

### 【ふるさと安来の未来へ】

どの地域においても言える事  
 ですが、安来市にも大小様々な問題・  
 課題があります。例えば、将来を見  
 据えた計画と財政資源のバランス、  
 少子高齢化に伴う若年層への負担  
 の増加などがあります。それらの  
 問題に対して様々な形で情報発信  
 がなされていますが、地域の方一

人ひとり日々の生活に追われ、  
 少し無関心なところがあるのでは  
 ないかと思えます。私達が住み暮  
 らすまちの現状を知り、地域の問  
 題や課題を自分自身の問題である  
 と捉え、行動することが必要であ  
 ると思えます。安来青年会議所と  
 してメンバー一丸となり、次の世  
 代を見据えて、このまちの在り方  
 を真剣に考える事業を展開し、地  
 域の皆様に対して色々な形で発信  
 していきたいと考えております。  
 そして、関係諸団体、青年団体、学  
 校や行政など、安来に携わる方々  
 と一緒になつて安来が活気のある  
 まちになつていく幸せを分かち合  
 い、このふるさと安来を盛り上げ  
 ていくことが必要であると考えま  
 す。そして、地域の方々と共に安来  
 に暮らすことの素晴らしさを共有  
 していきたいと思えます。



### 【子供達の未来へ】

私は、親として、大人として子供  
 たちが思いやりの心を持つことや  
 自分の考えで行動できる自律した  
 子供を育てることが必要だと考え  
 ます。私が小学生の時には、町内  
 は子供が溢れていたように記憶し  
 ています。子供同士でつくるコミ  
 ュニティが初めての社会勉強でし

た。田んぼでの野球や、神社で缶蹴りやかくれんぼなど、大人数で遊んでいました。ここでは、コミュニケーションの取り方や相手を思いやる心、仲間といることの喜びなどたくさん気付きがあったように覚えています。私には小学生になる子供がいますが、子育てを通じて、私が子供のころと比べると、現在の子供たちは、家の近所と一緒に遊ぶ友達が少なく、大勢で遊ぶ機会が少ないように感じます。そうすると、対人感受性が伸びず、大人になった時に社会の一員として上手くコミュニケーションがとれず、相手の立場になって考える心や自分で考えて行動できる力に欠ける人材になってしまうように思います。

そうならないためにも、子供たちの心に「火」をつけることが必要だと考えます。子供達は色々な経験をして大人になっていきますが、その人生の過程において、たくさんの人とのふれあいが生れます。その経験の中には幾つもの「気づき」があり、考え方や行動が変わることがあるはずで、「火」をつけることは、そのきつかけを作ることだと思えます。例えば、野外における冒険的な活動にチャレンジすることによって、出来るか出来ないか分からない事に挑戦すること、困難に立ち向かい、仲間と乗り越えていくプロセスを通じて、自分の本当の姿を知り、自分のありたい姿を探していくことで、社会の荒波の中へ力強く漕ぎ出している青少年の育成に繋がると思えます。親の都合や大人の都合でこれが「大人になること」で正しいこと、必要なこと」として押し付けるのではなく、子供達自らが選択して行動するためには、その「気づき」ができる事業をより多く子供達に対して開催することが大切であると考えます。



【安来青年会議所の未来へ】

安来青年会議所の50年の歴史の中で私達は数多くの「まちづくり」、「青少年育成」事業を行ってきました。そして、その過程で私達自身も育てて頂きました。それは、青年会議所は最後の学び舎と言われることに関わります。しかし、学び舎といっても学校とは根本的に違い、「教わる」というより、自らが率先して行動していくことが学びにつながる「つまりは、学校の教えが受け身である」とすれば、青年会議所は自発的な行動による学びになります。このような学びの場を継続して行く為にも、私たちはこれからも積極的に事業を企画・実施して、地域と共に成長していきます。

そして、今後も青年会議所運動を展開していくためには、次の時代のリーダーを育成していくことも青年会議所として重要なことです。安来青年会議所が今後も地域にとって掛け替えのない団体であり続けるために、地域の現状を知り、地域に対して、時代に適した事業を展開し、それを青年会議所として後輩に受け継ぎ、自らが率先して様々な問題に立ち向かう仲間を



【おわりに】

|      |                |       |       |      |      |       |       |       |      |
|------|----------------|-------|-------|------|------|-------|-------|-------|------|
| 監事   | 西村 陽介          | 矢田 敦子 | 浅野 周作 | 遠藤 章 | 木下 淳 | 中田 康太 | 日野 泰介 | 渡部 俊介 | 妹尾 匠 |
| 専務理事 | 創立50周年運営会議議長   |       |       |      |      |       |       |       |      |
| 副理事長 | 青少年未来創造委員会委員長  |       |       |      |      |       |       |       |      |
| 副理事長 | ふるさと安来創造委員会委員長 |       |       |      |      |       |       |       |      |
| 理事長  | 二〇一六年度役員 紹介    |       |       |      |      |       |       |       |      |

**(一社) 安来青年会議所への  
お問い合わせ・ご質問・ご要望は**

.....(一社) 安来青年会議所事務局.....

〒692-0014 安来市飯島町1240-3  
TEL0854-22-3038 FAX0854-22-3293

対応時間: 月曜日・水曜日・金曜日(9:00~16:00)

E-mail: yasugi-jc@galaxy.ocn.ne.jp http://yasugi-jc.sakura.ne.jp

広報誌「ふれあい」についてのご感想・ご要望もお待ちしております。

|  |  |                          |   |  |
|--|--|--------------------------|---|--|
| <p>山陰酸素工業株式会社<br/>安来支店</p> <p>安来市安来町1054-1<br/>TEL (0854) 22-3331<br/>FAX (0854) 23-2236</p> | <p>「旨い」をおもてなしの心で</p> <p>矢田醤油店</p> <p>全国発送、ギフト、イベント用醤油・みそ承ります</p> <p>〒692-0061<br/>島根県安来市中津町131<br/>TEL (0854) 22-2338<br/>FAX (0854) 22-2398</p> | <p>ふれあい新年号<br/>ご協賛企業</p> | <p>MARUWA UNYU</p> <p>丸和運輸</p> <p>〒692-0061 島根県安来市中津町10<br/>TEL (0854) 22-1686<br/>FAX (0854) 23-2583</p> | <p>アクアシステム株式会社</p> <p>本社/安来市安来町431番地<br/>TEL (0854) 22-3538<br/>営業所/松江・雲南・仁多</p> |
|--|--|--------------------------|---|--|

### 委員長所信



創立50周年運営会議  
議長 遠藤 章

2016年度一般社団法人安来青年会議所創立50周年運営会議議長を務めさせていただきます。

本年、安来青年会議所は記念すべき創立50周年という節目の年を迎えます。安来を想う気持ちを行動に変え、運動を展開されてこられた、先輩諸兄のたゆまぬ努力と情熱の賜物であり、一途に取り組んでこられた結果であると強く感じております。行政、各諸団体、地域の皆様に感謝を申し上げると共に、創立50年という永きにわたり、多くの青年会議所運動を通して築き上げてこられた信用、信頼を引き継いでいき、私達はこの安来で何のために青年会議所運動を行うのかその目的を再確認し形に囚われる事なく、新たな想いで一歩を踏みだしていく必要があります。先輩諸兄をはじめ、これまで支えて下さった行政、各諸団体、の方々への感謝の気持ちを形にするべく「創立50周年記念式典」を開催いた

します。

そして、市民の皆様とともに将来の安来を見据えることのできる「創立50周年事業」を開催いたします。創立50周年を迎えるにあたり、安来青年会議所創立50年の伝統と情熱を継承し、半世紀という歴史の重みを真摯に受け止めるとともに、時代に即し地域に何が求められているかを見出し、未来の活動に繋いでまいります。本年度スロガン「終りなき挑戦」のもと新たな方向を模索しつづけ、挑むことにより地域の未来、子供たちの未来を創り上げていきます。メンバーが同じ志を持ち歩んでいく新たな幕開けになると感じております。安来青年会議所メンバー一丸となり創立50周年を全力で邁進して行く所存であります。

### 委員長所信



青少年未来創造委員会  
委員長 浅野 周作

新年明けましておめでとうございます。

2016年度一般社団法人安来青年会議所青少年未来創造委員会委員長を務めさせていただきます。

さて、少子化の波は、この安来市におきましても顕著になりつつあります。安来市内の小学校児童数を調べますと、20年前の平成7年4月に

は3,162名だったのに対して、平成27年4月の時点では2,070名と、約65%にまで減少しております。

同じ年代の子供が周囲から減ることは、自分とは異なる考えに触れたり、仲間と一緒に感動を共有したりする機会の減少につながるものと考えられます。

このことは、自分の考えを持ち、それを上手に表現したり、相手の意見に耳を傾けつつお互いの主張の一致点を探るといったコミュニケーション力の低下や、他者との人間関係や周囲の状況に対しての

関心が薄くなる懸念があります。

当委員会では、子供たちの「なぜ? どうして?」「そうだったのか!」という好奇心を刺激したり、「自分にもできた!」という達成感、また「みんなと力を合わせるとすごい!」という連帯感を得られるきっかけとなる事業を行って参ります。

好奇心と協調性に富んだ、安来の未来を担う逞しい青少年を育成するために、メンバー一同、知恵と汗を搾って全力で取り組む所存です。

一年間、何卒宜しくお願い申し上げます。

### 委員長所信



ふるさと安来創造委員会  
委員長 矢田 敦子

2016年度一般社団法人安来青年会議所ふるさと安来創造委員会委員長を務めさせていただきます。

私達の住んでいる安来には人口減少による過疎化、少子高齢化などを始めとする様々な問題や課題があります。今後も統計的にこの傾向は続いていくことが見込まれており、何もしないまま現状を放っておけば、まちはどんどん活気を失っていきまます。そうならない

為にも、誰かがなんとかしてくれらるだろうと問題や課題を人任せにするのではなく、私達自身が理想的な住み良いまちを創っていくという意識を持ち、行動していくことが大切だと思います。

私は生まれ育ったこの安来が大好きです。大好きなまちだからこそ、

もつとこうだったらいいのに、あんな風になつたらいいのにと理想的な「まち」の姿を思い描けると思っています。自分の住んでいる安来はこんなにも暮らしやすい、活気があつていいところなのだと思っただけでなく、たくさんの方々胸を張って自慢できるような「まち」であつて欲しいと思つています。

当委員会では、地域の皆様が、自分の暮らすまちに愛着を持ち、まちの事を今ままで以上に知り、その未来を考え、行動に移していきけるきっかけになるような事業を展開発信してまいります。

一年間、何卒宜しくお願い申し上げます。



|  |   |                          |  |   |
|--|---|--------------------------|--|---|
| <p>木製建具・家具<br/>工 事 一 式</p> <p><b>まるいち木工</b></p> <p>〒692-0072 島根県安来市能義町82<br/>TEL (0854) 22-2863<br/>FAX (0854) 22-3358</p> | <p> <b>中田建設</b><br/>有限会社</p> <p>〒692-0001<br/>島根県安来市赤江町164<br/>TEL(0854)28-8042<br/>FAX(0854)28-6287</p> | <p>ふれあい新年号<br/>ご協賛企業</p> | <p>車検センター <b>アルプス</b></p> <p><b>株式会社 セノオ</b></p> <p>〒692-0023<br/>島根県安来市黒井田町476-1<br/>TEL(0854)23-9151<br/>FAX(0854)23-9252<br/>E-mail:alps-lease@rhythm.ocn.ne.jp</p> | <p>「廃車買取・不要な車は<br/>当社にお任せを」</p> <p><b>山陰UP販売</b><br/>有限会社</p> <p>〒692-0026<br/>島根県安来市吉佐町2番地<br/>TEL(0854)23-2466<br/>FAX(0854)23-9001</p> |
|--|---|--------------------------|--|---|

# 会員募集

# JCにはあなたの情熱が必要です!!

## 青年会議所ってどんなところ?

青年会議所は、20歳から40歳以下の青年経済人によって組織される「まちづくり」「ひとづくり」の団体です。「明るい豊かな社会」の実現を理念とし、このまちの未来を考え行動しています。

日本には青年会議所が697の地域にあり、計3万2千名あまり(2015年12月1日現在)の会員がいます。全ての会員は、40歳を超えると現役を退いてOBにならなくてはなりません。この年齢制限こそ青年会議所最大の特性であり、常に組織を若々しく保ち、果敢な行動へと導いてくれます。また、青年会議所の代表である理事長をはじめとする多くの役職の任期は1年に限られています。1年ごとに様々な役職を経験することで、会員は豊富な実戦経験を積むことが出来、自己修練の成果を個々の運動にフィードバックさせていけます。

## 安来青年会議所に入会しませんか?

「明るい豊かな社会」の実現を目指す青年会議所の理念にご賛同いただき、ふるさと安来のために率先して運動したい!というあなた、是非、安来青年会議所に入会してみませんか?

### 仕事が多忙なあなたこそJC入会をお勧めします。

JCでは、より効果的な時間管理の方法を身につけ、さらに実り多い時間を生み出すことを目指します。まず、毎月の例会及び委員会への参加、というスケジュール調整からスタートしてみてください。

### JCは大きな可能性に向けて自己投資です。

参加すればする程、出資を上回る大きな収穫をあなたにもたらすのがJCです。多くのメンバーは時間と費用は自己投資として考えています。

### 多くの仲間との出会いがあります。

異業種間での交流や意見交換が活発に行われています。多くの同じ志を持った仲間との連帯が生まれ、人的ネットワークが広がります。

### 様々な自己啓発トレーニングを体験できます。

普段、大勢の聴衆の前に立ってスピーチする機会がありますか? 次世代のリーダーたらしめる人物にとって、上手なスピーチが出来るということはとても大切なことです。JCでは、自己の能力を高めるためのトレーニングを行っています。

### 様々なセミナーに参加できます。

経営に直接関わるセミナーもありますし、全国的に有名な講師を招くこともあります。様々な講演などはあなたに大きな感銘を与えてくれるはずです。

### JCのシステム体験から組織運営を学べます。また色々な会議の運営方法も勉強できます。

JCは素晴らしい組織運営ノウハウをもっており、時代の流れに沿って常に革新しています。このノウハウは、必ず自己及び企業活動に活用できるはずです。

### 涙があふれるような感動を体験しませんか。

JCでの事業は利害関係がありませんので、失敗を恐れず思い切った挑戦をする事が出来ます。ボランティア体験などの事業を通して感動的な体験もできます。

### JCを通じて生涯の友人を作ることができます。

事業をとおして同じ苦勞を共にした仲間、意見が合わずに大激論をした仲間など心の底から付き合った仲間達と生涯を通じた友人関係を作ることが出来ます。

**JCって忙しそう...**

人は皆、一日24時間しかありません。しかし、人に頼られる人材は時間管理もスマートです。その勉強も含め、なっていくでしょう。

**お金が沢山かかるのでは...**

参加すればする程、出資を上回る大きな収穫をあなたにもたらすのがJCです。多くのメンバーは時間と費用は自己投資として考えています。

**本当に成長できるのかしら...**

皆不安はあるものです。例会、委員会等に積極的に参加し、多くの仲間との協力関係を通じて、他では得られない信頼関係と友情を育てています。一緒に運動できる仲間と共に相乗的な成長を目指しましょう。

|   |  |                          |   |   |
|---|--|--------------------------|---|---|
| <p>総合建設業</p> <p>株式会社 <b>木下工務店</b></p> <p>キリホーランド 事業部</p> <p>代表取締役 木下 聡</p> <p>安来市安来町917-3<br/>TEL 0854-22-1029<br/>FAX 0854-22-1034</p> <p>フリーダイヤル 0120-756-018</p> | <p>有限会社 <b>喜多川板金</b></p> <p>〒692-0064<br/>島根県安来市古川町755-1<br/>TEL (0854) 23-0018<br/>FAX (0854) 23-0036</p> | <p>ふれあい新年号<br/>ご協賛企業</p> | <p>有限 <b>増本土建</b><br/>会社</p> <p>〒692-0014<br/>安来市飯島町605<br/>TEL(0854)22-2407<br/>FAX(0854)22-2409</p> | <p>労働保険事務組合 安来労働管理協会<br/>遠藤社会保険労務士事務所</p> <p>〒692-0014<br/>安来市飯島町494番地5<br/>TEL : (0854) 23-0590<br/>FAX : (0854) 23-0627</p> |
|---|--|--------------------------|---|---|